



アプリ「マチイロ」で  
県のたよりが読めます!



iOS版

Android版

ヨコハマ想い vol.143



この世はうらめしいけど、すばらしい。

脚本家  
ふじきみつ彦さん  
Fujiki Mitsuhiro

1974年生まれ、横浜市保土ヶ谷区出身。CMプランナーとして広告代理店勤務を経て、2005年、30歳で作家活動を開始。コント、演劇、テレビドラマ、映画など多くのジャンルで台本、脚本を書くほか、『Eテレ「みつけた!」』などの教育番組ではキャラクターづくりから携わることも。脚本を担当したNHKドラマ『阿佐ヶ谷姉妹のほほんふたり暮らし』(2021年)が第30回橋田賞受賞。俳優・ムロツヨシさん主宰「muro式」へも脚本を提供する。思わず頬がゆるむ、ささやかな日常を描く作風で知られる。

## 好きな場所は「横浜スタジアム」

横浜育ちです。20代後半で一人暮らしを始めるまで、ずっと保土ヶ谷に暮らしました。岩崎中学校に通い、高校はその目と鼻の先にある桜丘高校。なぜか、通学路の風景を今でもよく夢に見ます。大学を出て就職先は新日本橋、横須賀線に揺られて通勤していました。

横浜で好きな場所はなんといっても横浜スタジアム。大洋時代からのベイスターズファンです。少年野球に打ち込み、スタジアムでも、テレビ神奈川でも父と一緒に応援した子ども時代。そのころ好きだったのは高木豊選手です。ベイスターズが日本一になった1998年、大学生だった僕は一人新幹線に乗り甲子園へ。セ・リーグ優勝を決めた、阪神タイガース戦を見届け、西武ライオンズと闘った日本シリーズも、全試合球場に足を運びました。外野席で声を張り上げて

応援歌を歌って。今でも関内駅に降り立つと「ああ、もうすぐベイスターズを応援できる!」と興奮します。

## 人生を変えた「シティボーイズ」

お笑いを観たり人を笑わせるのが好きで、大学生の時、お笑い養成所・NSC吉本総合芸能学院東京校に通いました。1期生でした。けれど通ううち、自分は舞台に立てる人間ではないと思い知らされ、芸人を目指すことはやめました。

就職は「面白いCMを作れたらいいな」と広告代理店に入社。ところが入ってみると堅いクライアントが多く、なかなか笑いには結びつかず。このままここにいても、面白いことは一生できないな……と感じながら、会社帰りにお笑いや演劇を観るようになって。中でも大竹まことさん、きたろうさん、斉木しげるさんの「シティボーイズ」の舞台は、とにかくこよくて面白くて夢中になってし

毎日お茶の間にやわらかな笑いを届けている連続テレビ小説『ばけげけ』。秋にスタートしたドラマもいよいよクライマックス、3月で最終回を迎える。その脚本を手掛けたのは横浜出身の脚本家・ふじきみつ彦さんだ。半年におよぶドラマを通し、ふじきさんが描きたかったことは、

まいました。「こんな演劇っぽいコントを書きたい!」と5年勤めた会社に辞表を出して。その後30歳でコントライブを開催、作家として活動を始めました。

## 笑いはスバラシイ!

現在放送中の連続テレビ小説『ばけげけ』の脚本を担当しました。松江の没落士族の娘・小泉セツと、その夫、『怪談』で知られる明治時代の作家・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)をモデルにした物語です。ドラマの中でセツは「トキ」、ハーンは「ヘブン」。

実在した人物の物語なので、史実も大切にしました。ドラマのエピソードで、ヘブンさんが「ピア」を買って求めているのも事実ですし、「ジゴク!」と言っていたのも事実。トキさんの実の母親が物乞いになったのも事実です。けれど、彼らの会話までは残っていないので、残された歴史の点と点の間を台詞でつなぐのが僕の仕事でした。

育ての父親が借金を抱えたり、実の父親が亡くなったり。一つ一つ拾っていくと苦労ばかりですが、それをそのまま重く、暗く描くのか、明るく笑いで描くのか。さまざまな描き方がある中で、僕は、暗くうらめしい中にも笑いを描きたかった。笑っても泣いてもトキさんのその後起こる出来事は同じ。史実が変わるわけではありません。それなら笑っていてほしい。笑って、やっぱり素晴らしい。『ばけげけ』の松野家の会話には、いつも笑いがあふれています。笑いを忘れず、物語を紡いでいきたかったのです。

## ささやかな日常を描く

実は、僕は母の里帰り出産で、『ばけげけ』の舞台である松江生まれ。子どものころはお正月やお盆など、松江の祖父母の家に遊びに行くのが楽しみでした。朝ごはんには必ずしじみ汁。そんな体験もドラマに盛り込

みました。

劇的なストーリーよりも、日々交わされる会話が好きです。ドラマではトキさんを巡る日常を描きました。トキさんとヘブンさんの結婚も、特別なきっかけがあったのではなく、毎日顔を合わせるうちに心を通わせ、一緒にいたいという気持ちが自然と芽生える。そんなことを大切に描きました。人生とは、日々の小さな積み重ね。そのささやかな営みを、丁寧に描けたらと思っています。

## 『ばけげけ』へ 感謝の想い

おかげさまで『ばけげけ』の脚本を書き上げることができました。以前担当された脚本家さんたちから「最後は大変だったよ」「2日間徹夜しても終わらなかった」などと聞かされていたので、書き上げたら「終わったぞ〜!」と解き放たれるかと思いきや、書き終えてみると、「松野家の人たちの台詞はもう書けないのだな」と、意外にも解放感より寂しさが勝りました。

同じ脚本でも、監督の好みや俳優さんの味、予算の制約などで全く印象の違う作品になります。完成した作品を観て、「書いた意図とちょっと違う」と、もどかしい思いをすることもありますが、そういうズレが、今回の『ばけげけ』では全くありませんでした。この作品は監督はじめスタッフの方々が、僕のいいところを引き出してくださったと思っています。自分でも納得のいく自分らしい作品を、この大舞台で書かせてもらうことができ、本当に幸せでした。

### 連続テレビ小説『ばけげけ』

■NHK総合  
毎週月曜〜土曜 8時〜8時15分  
(再放送 12時45分〜13時)  
※土曜は一週間の振り返り ほか

講座数は約1,000! やりたいことがきっと見つかる!

## 4月期&公開講座 受講者募集中

### 新設 ヒロインはあなた自身! 個性を引き出す「ドラマスタイリング」

講師 スタイリスト  
西 ゆり子  
受講日 5/19、6/16、6/30、  
7/21、8/18、9/15  
第3火曜日  
14:30~16:00  
受講料 6か月6回 33,000円  
(うち消費税額3,000円)  
維持費:2,244円



撮影:回里純子

200作品を超えるドラマのヒロインの衣装を手がけた講師が、大人のおしゃれの基本と着こなしのテクニックを楽しく伝授。座学と実践のほか、個別アドバイスも予定。

### 公開講座 自分のために作るシンプルで軽やかな一皿 これからは、料理もダウンサイジングしませんか

講師 料理家・エッセイスト  
山脇 りこ  
受講日 4/12(日)  
13:30~15:00  
受講料 1回 4,400円  
(うち消費税額400円)  
維持費:385円



色々としんどくなる50代以降、家事や料理も軽やかに!自分のために自分が食べたい、シンプルなお皿を。頑張りすぎない、手軽でも美味しい料理のコツについてお話しいたします。

### 公開講座 草木染体験・桜編 染織家・志村ふくみの世界

講師 アトリエシムラ代表  
志村 昌司  
受講日 5/31(日)  
13:30~15:00  
受講料 会 員:1回 6,600円(うち消費税額600円)  
一 般:1回 7,150円(うち消費税額650円)  
維持費:385円  
教材費:8,000円(当日講師へ直接お支払い下さい)  
持ち物 エプロン(袖付きが望ましいが通常のエプロンでも可)、ハンドタオル



染織家・志村ふくみさんの代名詞ともいえる「桜染め」。その奥深い色彩の世界観に触れながら、ご自身の手で桜色のストールを染め上げる特別な講座です。

### 公開講座 83歳現役女医が教える健やかに生きるための秘訣 薬いらずの健康法 生活習慣病の予防

講師 野中東睦会  
静風荘病院 特別顧問  
天野 恵子  
受講日 6/28(日)  
13:30~15:00  
受講料 1回 4,400円  
(うち消費税額400円)  
維持費:385円



日本で女性外来の設立に貢献したパイオニアが年齢を重ねるごとに変化する身体や病気、老いの壁の超え方について語ります。生活習慣病の予防につながる野菜スープのレシピと実践法もお話します。